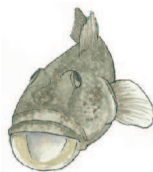


同一遺伝情報を有するヒト iPS 由来肝細胞と 初代培養肝細胞の薬物代謝能の比較



目で見る
海外論文発表

高山和雄*

COMPARISON OF CAPACITY FOR DRUG METABOLISM
BETWEEN GENETICALLY MATCHED HUMAN HEPATOCYTES
AND IPS DERIVED HEPATOCYTE LIKE CELLS

Key Words : Hepatocyte; human iPS cells; drug metabolism; cytochrome P450

<参加会議名>

INTERNATIONAL SOCIETY FOR STEM CELL
RESEARCH 12th ANNUAL MEETING

<開催場所> VANCOUVER, CANADA

<渡航期間> 2014年6月17日～2014年6月23日

<発表タイトル>

COMPARISON OF CAPACITY FOR DRUG
METABOLISM BETWEEN GENETICALLY
MATCHED HUMAN HEPATOCYTES AND IPS
DERIVED HEPATOCYTE LIKE CELLS

私は INTERNATIONAL SOCIETY FOR STEM CELL RESEARCH 12th ANNUAL MEETING (2014年6月17日～2014年6月23日、カナダ、バンクーバー) に参加しました。INTERNATIONAL SOCIETY FOR STEM CELL RESEARCH (ISSCR) は幹細胞の分野で最大級の学会(会員数4,100人以上、55か国)です。ANNUAL MEETINGは4日間開催され、朝8時頃から夕方6時頃までシンポジウムがあり、夕方6時頃から8時頃までポスターディスカッションがあります。ISSCRのANNUAL MEETINGへの参加は4回目でしたが、この一年間に発表された、あるいは、未発表の幹細胞に関する最新の研究成果を知ることができました。ポスターディスカッションでは、研究者間の情報交換が非常に行きやす

い雰囲気があり、論文を読むだけでは得られないような実験のコツや失敗談なども聞くことができました。また、私自身のポスター発表では、非常に多くの研究者からの貴重なアドバイスを頂きました。今後も継続して本学会に参加することで、幹細胞分野の最新情報を追跡するだけでなく、私自身の研究をできるだけ多くの国内外の研究者の方々に知ってもらうように努めていきたいと考えています。なお、来年のISSCRのANNUAL MEETINGはスウェーデンのストックホルムにて開催される予定です。

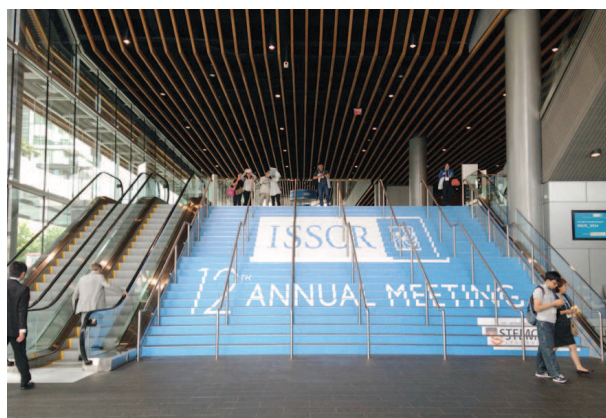


写真1. 学会会場のエントランス



*Kazuo TAKAYAMA

1986年12月生

現在、大阪大学大学院 薬学研究科

分子生物学分野

学生(博士課程後期3年) 薬学修士

分子生物学

TEL: 06-6879-8185

FAX: 06-6879-8186

E-mail: k-kiban@nibio.go.jp

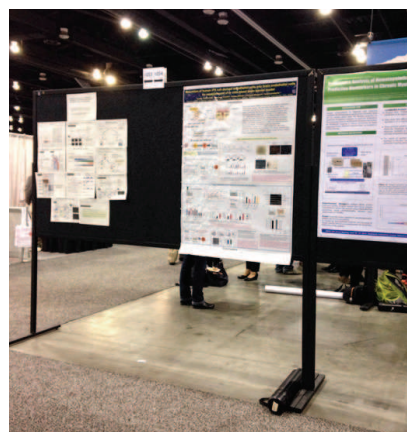


写真2. ポスター会場の様子